



## 第6期野尻湖水質保全計画を策定しました

湖沼水質保全特別措置法に基づく「第6期野尻湖水質保全計画」を定めましたのでお知らせします。  
第5期計画に引き続き「みんなの野尻湖 美しい姿を次世代に」をキャッチフレーズとして、野尻湖の望ましい将来像の達成を目指して各種施策を推進してまいります。

### 1 計画期間

令和元年度から令和5年度までの5年間



△野尻湖の風景  
▽

### 2 第6期計画のポイント

- 信濃町全体における生活排水施設整備率<sup>※</sup>を75%に向上させるとともに、直接流域における下水道及び農業集落排水施設への接続率の合計90%を目指します。
- 水草復元の兆しが見られることから、引き続き水草の生育状況についてモニタリングを実施するとともに、野尻湖における水生植物のあり方等に関する研究を進めます。
- 魅力的な自然体験プランの設定と情報発信により、野尻湖の特性を活かしたエコツーリズムを推進し、環境保全意識の向上を図ります。
- 毎年実施してきました小学生を対象とした「野尻湖クリーンラリー」などの環境学習を継続して実施し、環境保全意識の啓発を推進していきます。

※生活排水施設整備率：(下水道接続世帯+農業集落排水施設接続世帯+合併浄化槽設置世帯)÷行政世帯×100%

計画の全文は、長野県環境部水大気環境課のホームページの次のアドレスをご覧ください。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/mizutaiki/kurashi/shizen/suishitsu/nojiriko/nojiriko6ki.html>

— 確かな暮らしが営まれる美しい信州 —  
学びと自治の力で拓く新時代

しあわせ信州創造プラン2.0(長野県総合5か年計画)推進中

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

[長野県は「SDGs 未来都市」です]



長野県は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

環境部 水大気環境課 水質保全係  
(課長) 渡辺 ゆかり (担当) 小林 裕之  
電話：026-235-7162 (直通)  
：026-232-0111 (代表) 内線 2756  
F A X：026-235-7366  
E-mail mizutaiki@pref.nagano.lg.jp

# 1 野尻湖の現状

## 1 野尻湖の概要

野尻湖は長野県北部の上水内郡信濃町にあり、妙高戸隠連山国立公園内に位置する県内最大の貯水量を誇る天然湖沼です。

野尻湖の透明度は高く、周囲の鮮麗な山々とともに美しい景観を成しています。

文化観光資源としても重要な役割を果たしており、古くから国際的なリゾート地として知られています。

利水面では、発電、かんがい期の農業用水、内水面漁業、レクリエーションのほか、かつては長野市の水道水源に利用されるなど多くの利用価値を有しています。

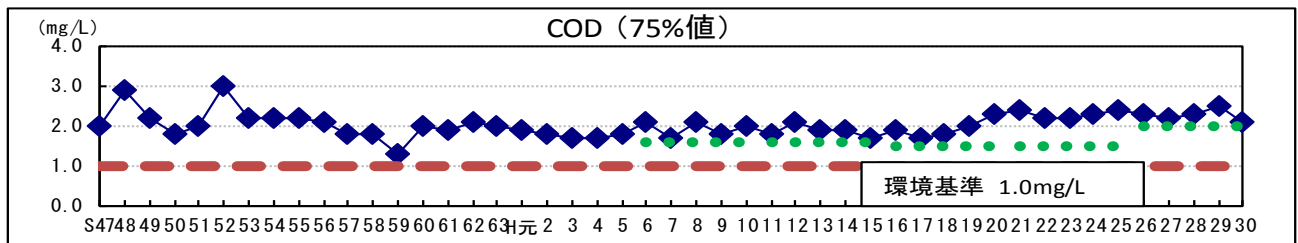
野尻湖の諸元	
湖面積	4.55 km <sup>2</sup>
貯水量	95,676 千 m <sup>3</sup>
水深	最大: 38.3 m 平均: 20.8 m
滞留時間	738 日
湖面標高	656.8 m
流入河川	11 河川
流出河川	1 河川
直接流域面積	12.9 km <sup>2</sup>
間接流域を含む流域面積	185.3 km <sup>2</sup>
流域内市町村	信濃町、長野市、新潟県妙高市

## 2 これまでの取組

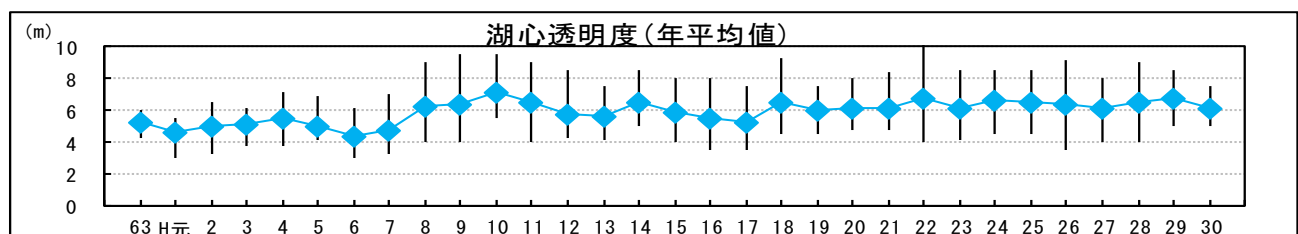
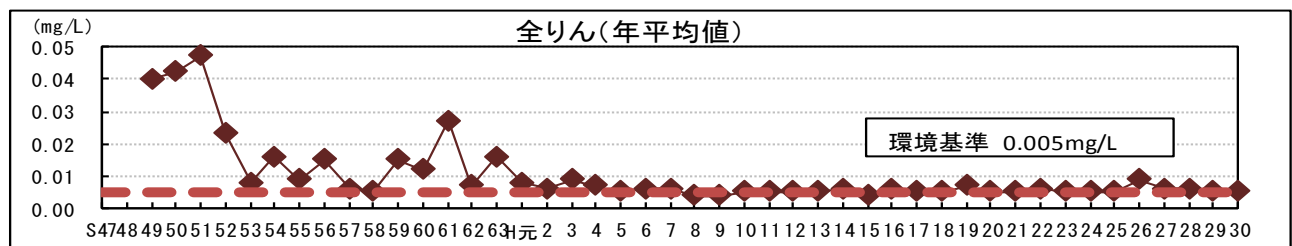
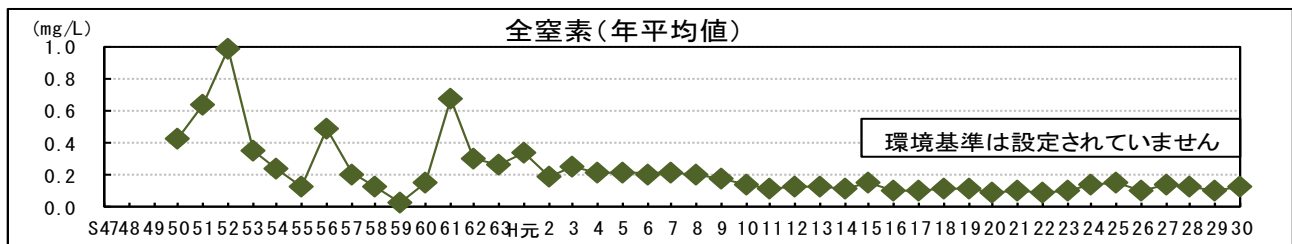
- ・生活排水対策（下水道の整備など）
- ・流出水対策（環境にやさしい農業の推進、流入河川の清掃など）
- ・その他（野尻湖クリーンラリーの実施、水草復元モニタリング）

## 3 水質の推移

これまでの取組の結果、水質は改善し、富栄養化の指標である全窒素は環境基準を達成しましたが、有機物汚濁の指標とされる化学的酸素要求量（COD）は環境基準の達成には至っていません。

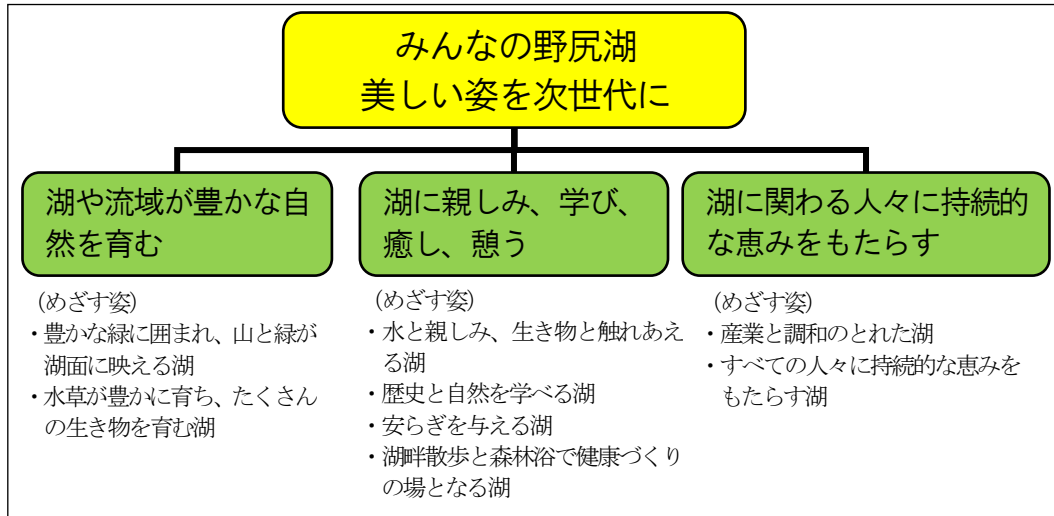


●●●●● はこれまでの湖沼水質保全計画の水質目標値を示す。



## 2 第6期野尻湖水質保全計画の概要

### (1) 野尻湖の長期ビジョン（前計画と同様）



### (2) 水質保全に関する方針

ア 計画期間 令和元年度から令和5年度までの5年間

イ 水質目標

項目		現状 (平成30年度)	計画期間内に 達成すべき目標 (令和5年度)	環境基準
化学的酸素要求量 (COD)	75%値 (mg/L)	2.1	2.0	1.0
	[参考] 年平均値 (mg/L)	2.0	1.9	—
全りん	年平均値 (mg/L)	0.005	0.005 (現状水準の維持・向上)	0.005
湖心透明度	年平均値 (m)	6.2	6.5	—

### (3) 第6期計画における主な取り組み

ア 生活排水対策

- ・信濃町全体における生活排水施設整備率を75%に向上させるとともに、直接流域における下水道及び農業集落排水施設への接続率の合計90%を目指します。

イ 流出水対策

- ・降雨に伴い市街地等から流出する汚濁負荷を削減するため、住宅及び事業場における雨水浸透ますの設置や緑化を推進するとともに、地域住民の清掃活動等を支援します。
- ・流域で営農している農業者に対し適正施肥等に係る技術指導を行うとともに、エコファーマーの認定など、各種制度の普及を図り、環境にやさしい農業の地域ぐるみの取組を推進します。
- ・森林等の自然地域の持つ多面的な機能を高度に発揮させるため、今後も必要に応じて間伐等の維持管理に努めます。

ウ 調査研究の推進と活用

- ・水草復元の兆しが見られることから、引き続き水草の生育状況についてモニタリングを実施するとともに、野尻湖における水生植物のあり方等に関する研究を進めます。

エ 環境学習の推進及び環境保全意識の啓発

- ・野尻湖クリーンラリー等、環境学習を一層推進します。
- ・魅力的な自然体験プランの設定と情報発信により、野尻湖の特性を活かしたエコツーリズムを推進し、環境保全意識の向上を図ります。
- ・湖辺の景観保全を含む様々な環境保全活動を支援します。